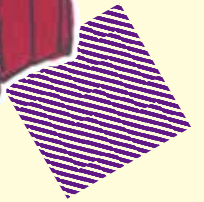


ねえねえ、  
高浜市の

公共施設とか  
学校が変わるって、  
知ってる？

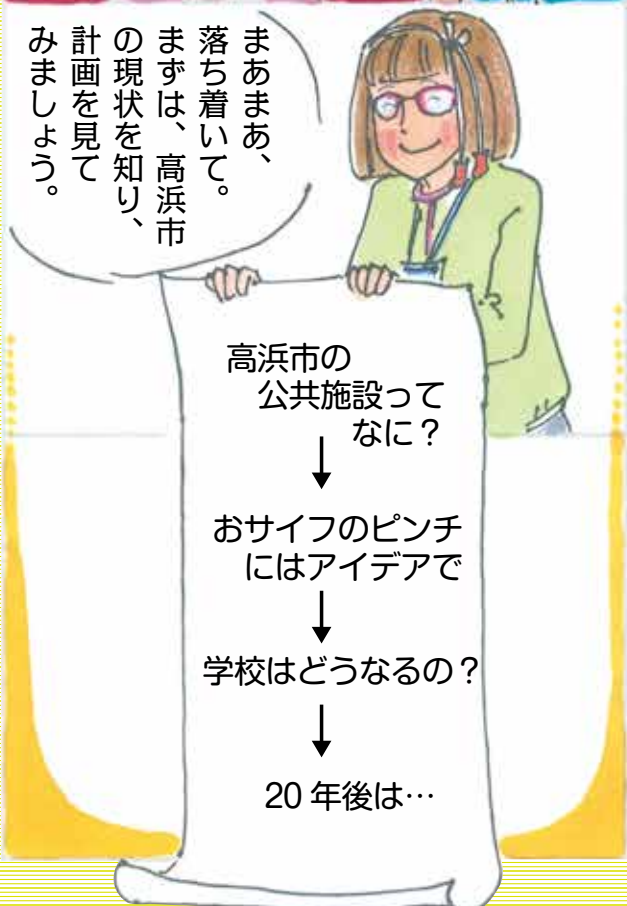
えー？



# たかはま 公共施設を 考えてみよう 物語



# 高浜市の 公共施設ってなに？



…学校で…

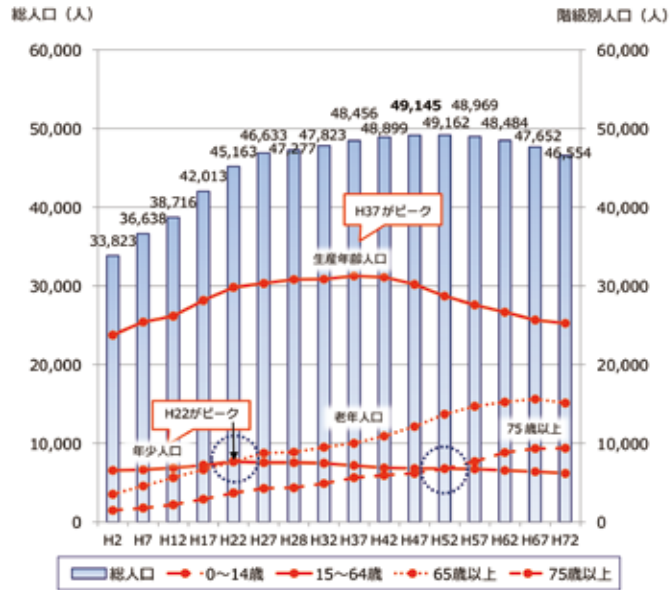


# 1. データで見る高浜市の公共施設の姿

## 人口は？ 税収入は？

今後、高浜市では…

- **生産年齢人口は横ばい**  
…税収の増額が見込めない
- **高齢者人口の増加**  
…医療費・介護費・扶助費などの増大
- **年少人口の横ばい**  
…学校・幼稚園・保育園を今後も維持していく



## 建物の数は？ 経過年数は？

- 1) **施設数・延床面積** 施設数：114施設 延床面積：約12.6万㎡  
→施設面積の約半分は、学校や幼稚園・保育園・こども園、児童センターなどで占めている
- 2) **整備時期** 1970年代(昭和45年～54年)に最も多く整備されている  
→築30年以上が40%強を占めている
- 3) **更新費用** (平成23年時点)  
114施設すべてを更新すると→40年間で約522.5億円(\*)が必要→年平均13.1億円

\*522.5億円は、総務省から参考に示されている単価等で計算しており、実勢価格ではありません。

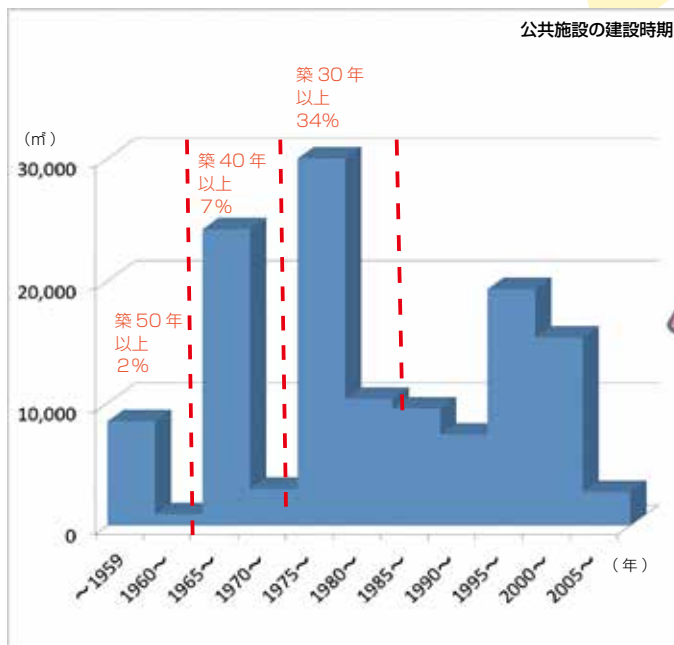
市民のライフラインを支える道路・橋りょうなどのインフラの更新費用は別途必要  
\*インフラ施設全体(一般会計・特別会計含む・40年間で約332.5億円(年平均9.0億円))

施設更新の大きな波に備えた取組みが必要!

## 高浜市の公共施設建設時期と面積

公共施設全体の延床面積

教育施設、幼児・児童向けの施設が全体の約半分



同じころに建てた方が多いのでは





しかも、収入は減って  
くるかもしれないん  
でしょ？全部買え  
ないし、一度に  
買い替えばムリ。  
でも必要だし…。



つまり、  
お母さんが  
なげいていた、  
同時期に買った  
家電が次々  
こわれ、

出費が  
かさむわあー、  
みたいなのが  
続くと  
こと？

## 2. 『現行ある施設以外に、新しい公共施設はつくらない！』 そのために必要なこと(2つの考え方)



### 避けては通れない全国共通の課題

#### 全国共通の課題に高浜市では

高度経済成長長期に公共施設の整備が集中したこと、人口の減少は、日本全体の傾向です。つまり、税収増が見込めないなかで、施設が一斉に老朽化していく状況も、全国共通の課題なのです。

高浜市では、東洋大学客員教授の南学氏、元・名古屋大学大学院教授の谷口元氏をはじめ、この課題に関する有識者の方々をお招きし、高浜市の公共施設の現状を踏まえ提言を頂き、「公共施設あり方計画」の礎としました。(p10参照)平成23年に発生した東日本大震災、平成24年に発生した中央自動車道笹子トンネルの崩落事故から見えてきた課題や教訓を踏まえ、安心・安全を確保した公共施設のあり方を検討すると共に、小学校区を単位に市民と協働のまちづくりを進めてきた高浜市の特性もいかし、各地区の公共施設の将来図をイメージしています。

#### 「総量の圧縮」と「長寿命化」

この検討を経て導き出された大前提が「現行ある施設以外に新しい公共施設はつくらない」。それによって行政サービスが低下しないために必要なのが「総量の圧縮」と「長寿命化」の取組みです。(p4参照)これらの考え方には、神奈川県秦野市などの先進的な取組み事例も参考にしています。

#### 高浜市の公共施設を考える 講演会より

講師・南学氏(東洋大学客員教授)  
「高浜市公共施設あり方検討委員会」  
「高浜市公共施設マネジメント推進委員会」  
委員長

全国各地で公共施設や道路などの老朽化問題が話題となっており、人口が下り坂に向かおうとしている今、避けては通れない課題となっています。総務省では、平成28年度までに「公共施設等総合管理計画」を策定するように、各自治体に呼びかけていますが、高浜市は、この問題にいち早く気づき、先駆けて取り組んできました。全国1718市町村の中で財政健全度は上位50位以内に入るレベルですが、それでもこの問題に取り組みなければなりません。

財源がかぎられているなかで、子育て、教育、福祉、医療、介護、防犯、防災など最優先課題が山積みですが、公共施設だけが唯一、縮小可能なメニューなのです。先送りすれば、次世代へツケを回すこととなります。

ある自治体では、図書館を地域ぐるみで子育てを支援する場として活用できないかと考え、絵本を読みながら寝ころぶことができる場をつくりました。面積圧縮＝暗い話ではなく、発想を転換し「ここに来たら楽しい」と思えるような場づくりに向けて、市民・行政がともに知恵を出し合い、取り組んでいくことが望まれます。

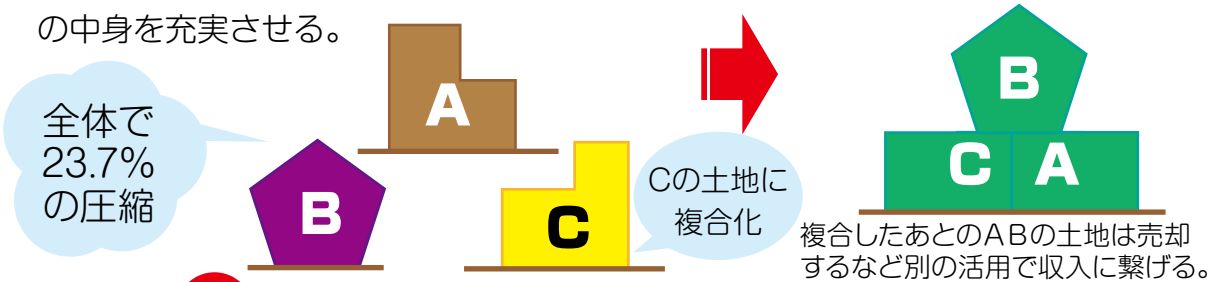
平成27年10月 いきいきホールにて



## 必要な2つの考え方

### 1. まず、数を減らす (総量の圧縮)

**機能の複合化・運営の見直し・統廃合等**  
ひとつの施設が、いろいろな機能をもつことで、施設の数減らすことができる。コンパクトにするかわりに、稼働率をあげ、運営の中身を充実させる。



- ①更新費用を **約183.4億円**削減
- ②維持管理・運営費用を **約93億円**削減

### 2. 残したものは修理しながら使っていく (長寿命化)

計画的に大規模改修や修繕をして、施設を長持ちさせる。



- 更新費用を **約45.5億円**削減

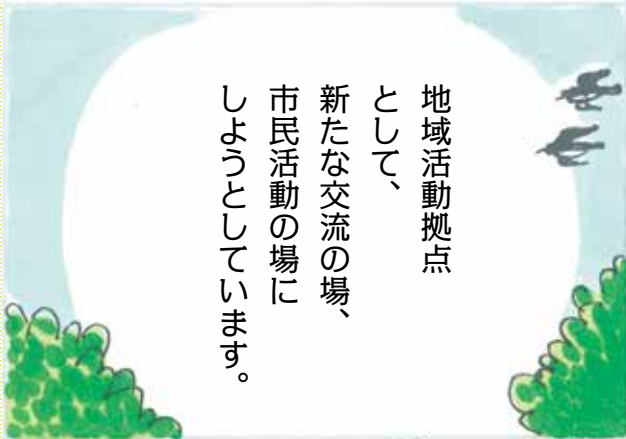
施設の大規模改修や、建て替え等の更新時期に合わせて、機能の複合化や機能の集約化を図ることで

**できるかぎり今までのサービスへの影響を少なくしながら新たな活用も生まれるようようにすることを目的としています。**





# 学校はどうなるの？

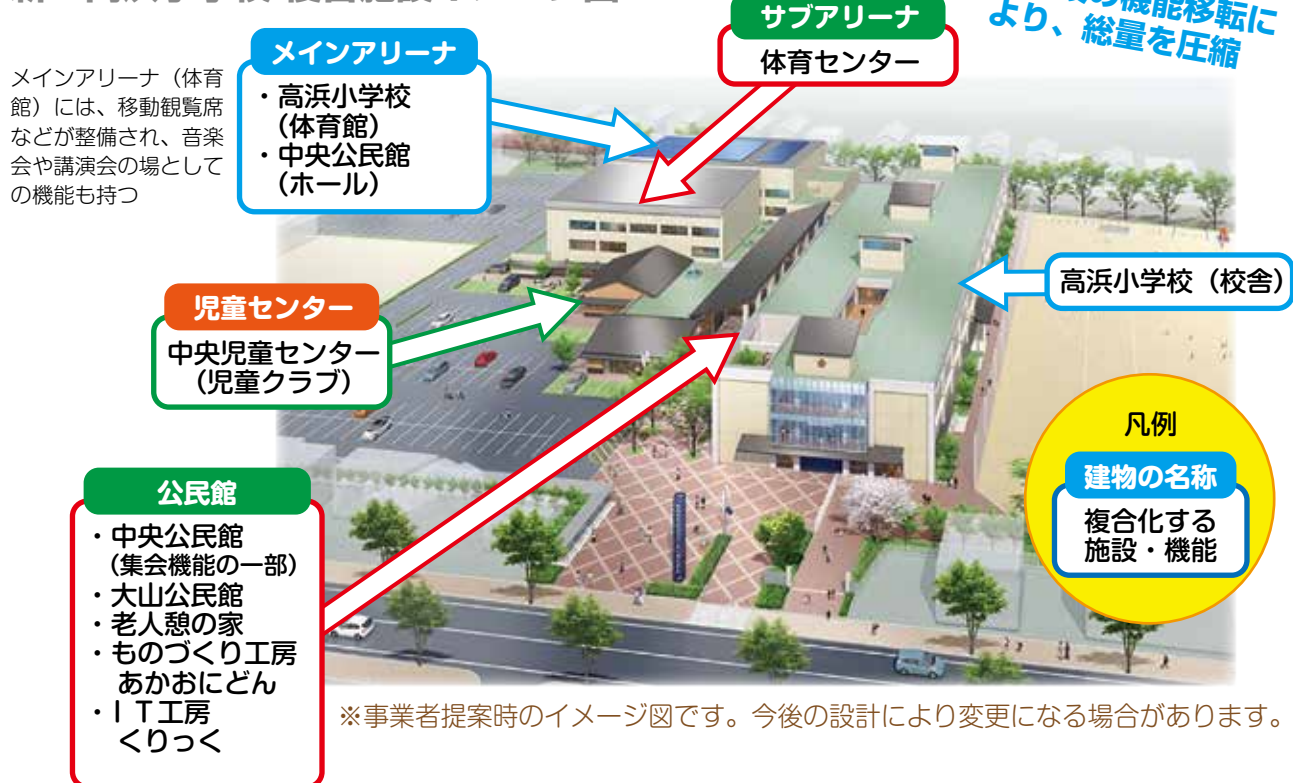


### 3. 今後のモデルケース！動き始めた「高浜小学校等整備事業」

高浜小学校は、最も古い校舎で築後60年近くが経過し、老朽化の進行により施設全体の建て替えを行わなくてはならない時期を迎えていました。そこで、小学校を核として他の公共施設の複合化を図り「地域コミュニティの拠点」とするモデルケースと位置づけ、整備事業をスタートしています。平成28年12月には建設等に携わる事業者も選定しました。

公民館や児童センターなどの機能も敷地内に併設する新時代の学校の姿に、教育活動の充実、さらには世代を越えた交流などが期待されます。

#### 新・高浜小学校 複合施設イメージ図



こんな学校になったらいいな!

平成26年開催の「高浜小学校等整備事業 市民ワークショップ」では、PTAなど学校関係者、複合化が計画される施設の運営に関わる団体や利用者が意見交換を行いました。

安全・安心で学業とスポーツがのびのびできる学校がいいな

子育てと教育と一緒にでき、地域の人の顔が見える学校はどう？

いざというとき防災拠点として使えるといいよね！

今後は、全体の計画に基づきながら、施設の使い方などについて、皆さんと検討していきます！

- ・ 工事中の安全対策には十分に配慮します。
- ・ セキュリティの確保、施設利用の条件など、学校本来の機能に支障が生じないように留意します。

#### 建設スケジュール (予定)

|                       | H29 | H30 | H31           | H32                  |
|-----------------------|-----|-----|---------------|----------------------|
| 設計                    | →   |     |               |                      |
| 1期工事<br>校舎・公民館建設      |     | →   | H31.4<br>供用開始 |                      |
| 現校舎解体                 |     |     | →             |                      |
| 2期工事<br>体育館・児童センター等建設 |     |     | →             | H32.9<br>供用開始        |
| プール解体                 |     |     | →             |                      |
| 3期工事<br>外構(駐車場等)建設    |     |     |               | →<br>(H33.4<br>供用開始) |
| 現体育館解体                |     |     |               | →                    |



## 4. 学校を地域コミュニティの拠点に！「各小学校区のこれから」のイメージ

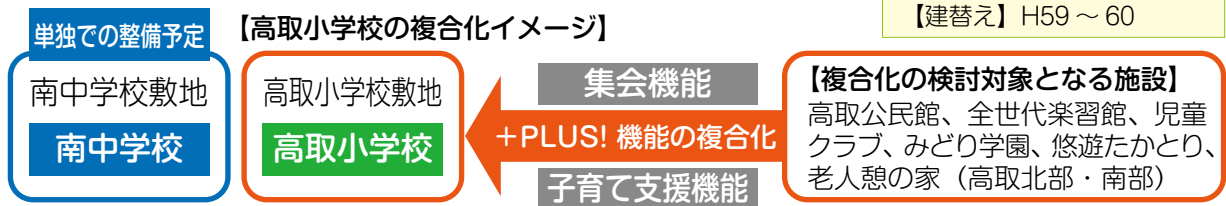
《整備にあたっての基本的な考え方》

高浜小学校区以外の各小学校区においても、学校を、子どもから高齢者まで、地域住民が集う「地域コミュニティの拠点」と位置づけ、将来を担う子どもたちの学び舎として、地域ぐるみで子育て・子育てを支えていくための環境の充実をめざします。

### ■高取小学校区のこれから～現在の検討の方向性～ <広報たかはま H28.1.15 (6ページ) より>

- ①高取小学校の建替えにあわせ、他施設の機能を複合化
- ②高取幼稚園・高取保育園の統合、こども園化（施設の建替え）
- ③高取農業センターの機能を移転し、跡地活用を検討

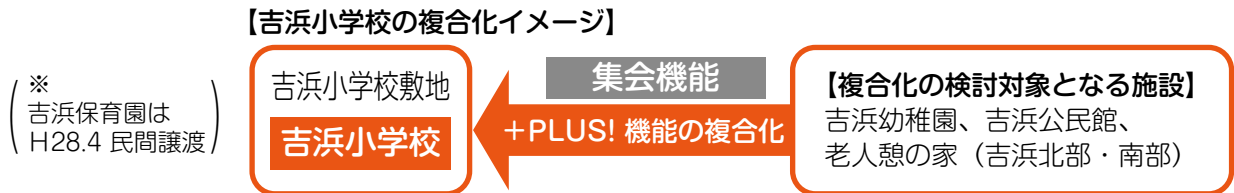
高取小学校の更新予定時期  
【大規模改修】 H31～32  
【建替え】 H46～47  
南中学校の更新予定時期  
【大規模改修】 H39～40  
【建替え】 H59～60



### ■吉浜小学校区のこれから～現在の検討の方向性～ <広報たかはま H28.2.15 (7ページ) より>

- ①吉浜小学校の建替えにあわせ、他施設の機能を複合化
- ②吉浜北部保育園・吉浜ふれあいプラザを改修・建替え

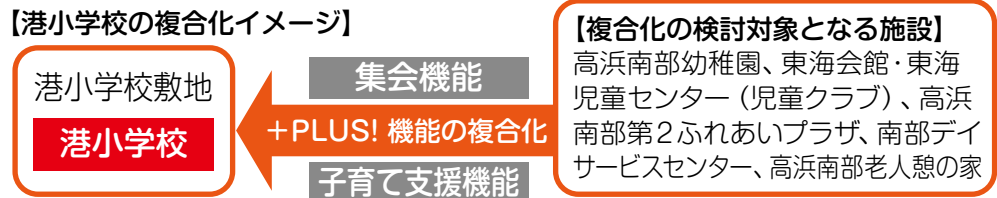
吉浜小学校の更新予定時期  
【大規模改修】 H33～34  
【建替え】 H50～51



### ■港小学校区のこれから～現在の検討の方向性～ <広報たかはま H28.2.1 (10ページ) より>

- ①港小学校の建替えにあわせ、他施設の機能を複合化
- ②高浜南部保育園、高浜南部ふれあいプラザを改修・建替え

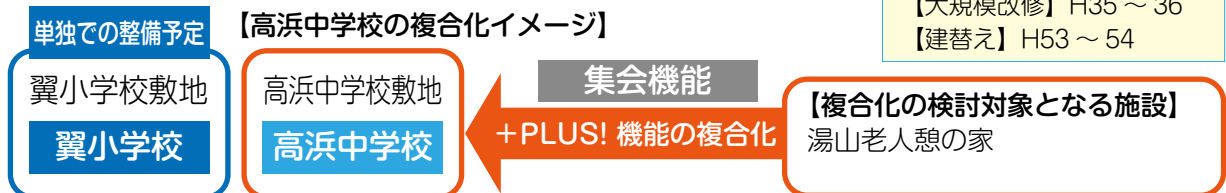
港小学校の更新予定時期  
【大規模改修】 H37～38  
【建替え】 H55～56



### ■翼小学校区のこれから～現在の検討の方向性～ <広報たかはま H28.3.1 (9ページ) より>

- ①翼小学校の大規模改修
- ②高浜中学校の建替えにあわせ、他施設の機能を複合化
- ③翼ふれあいプラザのあり方の検討、保有形態の見直し

翼小学校の更新予定時期  
【大規模改修】 H48～49  
高浜中学校の更新予定時期  
【大規模改修】 H35～36  
【建替え】 H53～54





## 5. 主要公共施設の現在の検討の方向性（概要）

『広報たかはま』（平成27年12月15日号）において、主な公共施設の検討の方向性をお知らせしました。その後の変更点も含め、現在の検討の方向性の概要は下記のとおりです。

| 主な施設名（機能）   | 建築年度                                    | 現在の検討の方向性（概要）   | H29.2 現在 |
|---|---|---|----------|
| 市立図書館<br>（図書館機能）                                  | 昭和 54                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>機能を、他の施設に移転させ複合施設とします。<br/>〔計画時期：H31〕</li> <li>あらゆる機能や蔵書を備えた図書館ではなく、子どもに特化した図書館など、高浜らしさをいかした特色のある図書館づくりを検討していきます。</li> </ul>   |          |
| かわら美術館<br>（美術館機能）                                 | 平成 5                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域文化の発信拠点であることから、美術館のあり方を検討し、保有形態を含めて見直しを行い、より効率的かつ市民サービスの向上を図ります。<br/>〔計画時期：H33～H34〕</li> </ul>   |          |
| 中央公民館<br>（集会機能）<br>（ホール機能）                        | 昭和 55                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>施設解体工事契約を締結し（H29.1）、施設の解体を開始します。<br/>〔実施時期：H29.4～〕（解体後施設跡地の有効活用を図ります。）</li> <li>他の集会施設へ機能を集約させるとともに、高浜小学校に地域交流施設（公民館）及び体育館（メインアリーナ）を整備することにより、集会機能の一部やホール機能を移転させ、複合施設とします。<br/>〔実施時期：H29～H32〕</li> </ul> |          |
| 体育センター<br>（スポーツ機能）                                | 昭和 52                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>高浜小学校に地域交流施設（サブアリーナ）を整備することにより、機能を移転させ、複合施設とします。<br/>〔実施時期：H29～H32〕</li> <li>※耐震対策未実施</li> </ul>   |          |
| 青少年ホーム<br>（集会機能）                                  | 昭和 49                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>民間活力の導入による新たなスポーツ拠点を整備します。これにより、資産の有効活用や拠点整備によるスポーツ振興、民間施設（プール）を活用した新たな水泳指導を進めることによる教育環境の維持・向上を図ります。<br/>〔計画時期：H29～H30〕</li> </ul>   |          |
| 南テニスコート<br>（スポーツ機能）                               | 昭和 57                                   |   |          |
| 市営住宅<br>①葭池住宅<br>②芳川住宅<br>③湯山住宅<br>④東海住宅<br>⑤稗田住宅 | 昭和 39<br>昭和 55<br>昭和 57<br>昭和 61<br>平成元 | <ul style="list-style-type: none"> <li>計画的修繕を行いつつ、民間ストックの活用（新民間賃貸住宅・家賃助成）に向けた検討を行います。<br/>〔計画期間：H28～H30〕</li> </ul>   |          |



20年後は・・・





# 高浜市の公共施設あり方検討のあゆみ

本冊子でご紹介してきたとおり、現在、市内の公共施設は経年による老朽化、市民ニーズの多様化など、さまざまな課題を抱えています。公共施設は老朽化した建物の建て替えだけでなく、維持するためにも多額の費用が必要となりますが、今後の財政状況では、一斉に更新や修繕を行うことは難しくなっています。

持続可能な自立した基礎自治体を目指し、限られた財源・資産をより有効に活用するために、高浜市では、公共施設のあり方について全国的に見ても早い時期から着目し、検討を続けてきました。この検討により策定した計画をもとに、高浜市の公共施設を未来につなげるよう、あゆみを進めてまいります。

| 年度         | 検討経過（取組内容）  |
|------------|---|
| 平成<br>23年度 | ◆公共施設の現状と課題をとりまとめた「高浜市公共施設マネジメント白書」を策定  |
| 平成<br>24年度 | ◆白書をもとに市民・有識者を交えた検討を進めるために「公共施設あり方検討委員会」を設置<br>◆「公共施設あり方検討委員会」より、公共施設のあり方の今後の方針を示した「公共施設マネジメント基本方針」及び、施設の総量圧縮、機能移転等を踏まえた複数の改善案を取りまとめた「公共施設改善計画(案)」を「高浜市公共施設あり方計画(案)」として提言を受ける   |
| 平成<br>25年度 | ◆耐用年数の長寿命化、コストの平準化を考慮した保全スケジュール等のアクションプラン(実施計画)を取りまとめるため、「公共施設保全計画」を策定  |
| 平成<br>26年度 | ◆6月 「公共施設あり方検討委員会」からの提言を踏襲し、高浜市としての方針を取りまとめた「高浜市公共施設あり方計画(案)」を策定<br>◆7月 同計画(案)のパブリックコメントを実施(～7月31日)<br>◆8月～10月 同計画(案)の地区説明会を実施  |
| 平成<br>27年度 | ◆7月 高浜市公共施設マネジメント基本条例(案)のパブリックコメントを実施(～7月31日)<br>◆9月 同条例案が議会にて賛成多数により可決<br>「高浜市公共施設マネジメント推進委員会」を設置<br>◆11月～1月 「高浜市公共施設総合管理計画」の策定に伴う、地区説明会を実施<br>◆2月 「高浜市公共施設総合管理計画(案)」のパブリックコメントを実施(2月16日～3月1日)<br>◆3月 「高浜市公共施設総合管理計画」を策定 |
| 平成<br>28年度 | ◆7月 高浜小学校等整備事業公募スタート<br>◆12月 高浜小学校等整備事業 事業者決定   |

[注]

本誌は、これまで『広報たかはま』に掲載した“公共施設あり方”に関する紹介記事をもとに構成しています。掲載後に変更等があった事項に関しては、平成29年2月現在の状況をもとに記載していますのでご了承ください。

# いっしょに考えよう！ 学校を拠点とした 公共施設のカタチ

平成29年3月26日(日)

13:30~15:30

いきいき広場(2階 ホール) 開場13:00

主催 高浜市

これからのたかはまの公共施設の方向性は？  
議論・検討してきた「公共施設のあり方」に、1人でも多くの  
方に関心をもっていただくため、シンポジウムを開催します。

## 第1部

基調講演 **「学校を拠点とした公共施設のカタチ」**

講師 倉村綾子氏(千葉工業大学創造工学部デザイン科学科准教授)

## 第2部

**「そこが知りたい!学校を拠点とした公共施設のカタチ」**

動き始めた高浜小学校整備事業。参加者から事前に質問いただいたことについて、全国の事例などを踏まえ、みんなで理解を深めていきましょう。

定員 120人(事前申込要、定員になりしだい締切)

申込期間 3月6日(月)~23日(木)

市役所2階総合政策グループに直接申し込いただくかEメールまたはFAXにて申込(氏名・連絡先記入)

当日は質疑応答の時間を設けることができません。

ご質問等ありましたら申込時に様式に記入してお送りください。

(例)「ほかのまちの学校の事例を聞きたい」

「こんな学校になったらいいなと思うんだけど…」など

※お1人様ずつの受付とさせていただきます。

※申込様式は市公式ホームページからダウンロード可

問合せ先 ☎0566-52-1111(内線365,339) FAX0566-52-1110

高浜市役所企画部総合政策グループ宛て

Eメール seisaku@city.takahama.lg.jp

シンポジウムのほか…

「白書」や「計画」を見たい

→高浜市公式ホームページ、トップページの

「公共施設マネジメント」をクリック

<http://www.city.takahama.lg.jp/>

「説明を聞きたい」(まちづくりトーク&トーク)

→ご希望に応じて市役所担当グループ職員が

出向き、説明させていただきます。

別冊 広報たかはま

**「たかはま公共施設を考えてみよう物語」**

平成29年3月

編集・発行 高浜市役所総合政策グループ

〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2

TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110

<http://www.city.takahama.lg.jp/>

Eメール info@city.takahama.lg.jp